

扇 I

いまごろ あれはどうなつたか
手から離れる時 風にさそはれ
思はぬ所に消え去つた扇
別れの瞬間が失はれてしまつたやうに
あつけなかつた運命の扇
別れの瞬間に思ひを込めてみよう
心待ちに待つてみたものを
風が奪ひ去つた
波がまき込むかほりに あふりたてて
夜目に白く ばらばらになつて行くのを見せつけた
紅は にじみ
すみは にじみ
紙はうすくはがれたまま
まきつき 無残にたゆたふか
伝馬船の波に右岸により
モーターボートの波に左岸にひきつけられ
朝は白くかがやき
夕陽には 金色を反射して
あれは思ひかなはない別離をせせら笑ひながら
よごれた どろどろの水の河口へと行くのだらう
あれは 夜になると
波の上で美しい舞ひを舞ふのだらう